

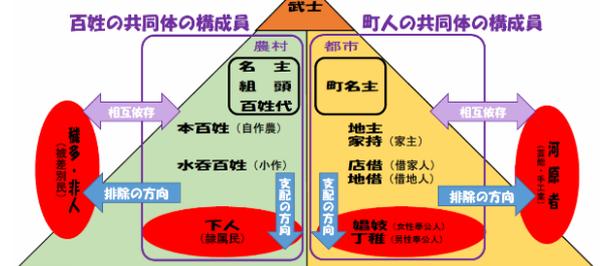
### 2年生2学期人権・同和教育特別授業

#### 日本における差別の起源について

室町時代の史料『職人歌合』には三十六番目に「穢多」が挙げられており、皮を加工する人の絵が掲載されている。おそらく身分というよりも職分に近いものであったことがわかる。屠殺や皮革加工に従事する人々は「河原者」と呼ばれ、平安時代(1016年)の『左経記』が初見だが、時代と共に多様化し、慈照寺銀閣の作庭を担当した「仙水河原者」の善阿弥や傀儡、猿回し、製薬、馬相見、医者など、様々な優れた知識と技量で権力者に仕えるようになっていく。彼らは下人のように奴隷的に使役される存在とも異なり、経済的にも決して貧困に喘いでいたわけではない。むしろ、村や町では治安の維持や祭礼の取り締まり、門開き、などの特別な役割で庄屋・小百姓たちと契約を交わし、仕事の礼として金銭や家屋・家財の提供を受けている。一方では差別を受けた人たちの力に依存しながら、もう一方では彼らを差別し排除しようとする。この複雑な関係こそが日本における差別の実態であり、その後の歴史の流れで、時代も社会も就業も変わったのに、まだ過去のことを引き合いに出して差別を再生産している点、日本独自の問題点を示している。また付け加えれば、近代産業の発展で彼らの生業が奪われたことで、生活の実態が困難になっていったことも忘れてはならないだろう。



「士農工商」に代わる、現在の見方・考え方



### 研修から学んだこと・感想・・・

中学校の時、なんとなく差別のことについての授業を受けたことがあります。でも詳しくはわかりませんでした。身分の違いによって、職業が違ったり、特に皮革製造・加工や清掃での死体を運んだりするのは、生き物の死と関わっていて、普通の人はやりたくないような仕事を穢多・非人にやらせて、社会からの排除や差別という方向へと追いやったりするのが昔からあって、今でも昔ほどではないけれど、そういう背景はあると思います。差別もいじめも意外と身近にあるものだと思います。自分の感情で動いてはいけないし、人の気持ちを考えて行動しなければいけないと思いました。

今日の人権・同和教育の話を聞いていて、外国の差別と日本の差別の違いについてわかりました。外国の人々から見た日本の差別はあまりにもおかしいんだなと思いました。外国の差別と言えば、皮膚の色や文化の違いによって、差別されていたのに、日本の差別はそういった違いや明確な違いがあるわけでもないのに差別を受けているのは不思議だなと思いました。差別やいじめは自分たちの意識で変わってくると思うので、少しずつでも日本や世界の差別が減ってくるといいなと思いました。

差別は間違った知識からの思い込みや、人間の、自分より下の人を作りた、(自分は)上に立ちたいという考えから始まると思う。差別をしている人は職の内容で差別をしている。実際は差別をされている人のやっている事は(よく知らないので)少し怖いところもあるかもしれないけど、(世の中にとって)すごく大切なことで、その人たちがその仕事を辞めると困るのにその人たちを差別をする人がいる。とても愚かで悲しいことだなと思いました。

職業や地位の違いから生まれた差から、年がたつごとに「特に違いはないけど差別する」という無根拠なものになっていったことが分かった。海外は肌の色、言語、宗教などの違いなどによるものだったが、日本はそういう見えるものではなく、見えない考え方や、立場によって差別され、それが一部続いていることがすごく驚きだった。歴史的背景を今回一緒に学んだことで、どのようにただの「差」が「差別」に代わって行ったのかがとても分かりやすく学ぶことができた。

穢多・非人身分は中学校でも習ったことがあり、今日はそれについての詳しい話を聞くことができました。この身分の寧ろ勝を聞くこと「差別」という言葉が頭に出てきます。今で言うといじめと同じことだと思いましたが、昔のその身分にあった人たちはどのような生活をしていたのか、またどれだけ辛い思いをしていたのか非常に気になりました。というのも、今の「いじめ」は、される側は誰かに相談をして、自分の気持ちを少し楽にできると思いますが、昔は避けられたり必要以上に関わらなかつたりしたと思うので、誰かと相談して問題を解決することが難しかったんじゃないかなと思いました。人は誰しも、少なからず「差別の芽」のようなものを持っていると思いますが、それをどうやったらなくしていけるのか本気で考えたいです。

周りから見れば何が違うのかわからないのに、人と違うからって理由でのけ者にしたり差別したりするのは日本人っぽいやり方だなと思いました。人と違うことあまり気にせず、むしろプラスの方向でとらえられる人でありたいと思いました。差別されていた人と差別していた人が、日常のある面では協力関係を持っているのに、別の場面では差別の関係にあったことを不思議に思いました。よく理解できない人や未知の人を恐れる気持ちが、当時の部落差別につながったと知って、いつの時代も根本的な理由は変わらないのだなと思いました。